

ほぞんばん
保存版

じしゅがくしゅう てび
自主学習の手引き



おおさかしりつひらのしょうがっこう
大阪市立平野小学校

1. 確かな学力について

「確かな学力」とは、文部科学省によると、「知識・技能に加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」と言われています。「どうすれば～できるのだろう」「なぜこうなるの」「やってみよう」など、これまで身に付けてきた知識や技能を使って、課題や問題に対して自分からすすんで取り組もうとする力です。

学校では、子どもたちが将来社会人として自立していくための基礎となる「確かな学力」を身につけることができるよう取り組んでいます。特に、「読むこと」「書くこと」「計算すること」は、欠かすことのできない「生きるための力」です。「確かな学力」を身につけるために、習熟度別・少人数授業や授業力向上のための授業研究会を行っています。また、放課後ステップアップ事業を実施し、子どもたちの自主学習の支援を行っています。平野小学校では、「確かな学力」を子どもたちが身につけるために「自主学習の手引き」を作成しました。学校と家庭が協力することで、その成果を何倍にもすることができます。ご家庭で、「自主学習の手引き」を活用していただくようお願いします。

2. 家庭学習について

子どもたちがすすんで学習する習慣を身につけることで、幅広い知識を得ることができたり、課題と向き合い諦めずに挑戦したりする力が身につきます。自主学習習慣を定着させるためには、学校だけでなく子どもたちが一番安心できる環境である家庭との連携・協力が不可欠です。

家庭学習を行い、家庭で見守られ励まされることで、子どもたちは自分らしさをもつことや努力をすることに自信をもてます。また、家族と将来について考えたり、コミュニケーションを図ったりすることができます。

子どもたちが将来社会人として自立していくために、学校と家庭が連携し「確かな学力」を育てていきましょう。

3. 家庭学習の仕方

①学校からの「宿題」を最初にします。

②「自主学習の手引き」の中からやることを選んでします。

③宿題と自主学習が終わったら次の日の時間割を合わせます。

※子どもたちのがんばりを大いにほめてあげてください。（自信アップ！やる気アップ！）

特に低学年は、学習中できる限り近くで見守ってあげてください。

4. 自主学 習の時間のめやす(宿 題以外の時間です)

めやすは (学年×10分)			
ねんせい 1年生	ぶん 10分	ねんせい 2年生	ぶん 20分
ねんせい 3年生	ぶん 30分	ねんせい 4年生	ぶん 40分
ねんせい 5年生	ぶん 50分	ねんせい 6年生	ぶん 60分

5. 家庭学 習で大切にしたいこと

①家庭学 習時間の確保

習い事や塾などで、忙しいお子さんともいます。また、保護者のみなさんも、仕事などで、なかなか時間が作れない方もいらっしゃると思います。短い時間でも構いませんので、「何時から何時まで勉強する」ということを、お子さんとよく話し合って時間設定をし、学習に取り組みさせてください。

②家庭での学 習環境作り

テレビを見ながら学習をしたり、机の周りに気が散るものがあつたりして集中できない環境だと、学習の効果が上がりません。落ち着いた学習環境になるよう、ご家庭での工夫をお願いします。

③ほめる・伸ばす

子どもの学習を見守り、がんばりをほめる。そして、言葉や文字で伝える。そうすることで、子どもは努力する自分に自信をもち、どんどんやる気を出します。子どもの可能性は無限大です。お子さんの様子を見ながらできる限り、見守ってあげてください。

6. 規則正しい生活を

- ・家に帰ったら、まず宿題(学習)に取り組みさせてください。
- ・寝る前にお子さん自身で、次の日の学習の準備をさせてください。
- ・早寝・早起きをさせ、規則正しい生活習慣を身につけさせてください。
- ・朝食を毎日とることで、元気な一日を過ごせます。必ず食べさせてください。
- ・遅刻をしないように、お子さんを送り出してください。
- ・テレビ・ゲームなどは、お子さんと話し合って時間を決めてください。

じしゅがくしゅうで できること

1 おんどく (こえを出してよみましょう)

○いま、ベンキョウしているところを なんかいよむか きめて、こえをだして よみましょう。

○すらすらよめるように れんしゅうしましょう。

○できるだけ いえの^{ひと}に きいてもらいましょう。

○よんだら、おんどくカードに よんだしるしを かきましょう。

2 もじのれんしゅう

○ならったひらがな、カタカナ、かんじを、かきじゅんや 「とめ」「はね」「はらい」に きをつけて ノートにかきましょう。

3 にっき・さくぶん

○くつつきの 「は」「へ」「を」をつかって、ぶんをつくりましょう。

れい：「わたしは、こうえんで おにごっこを しました。」

○カタカナのことばや かんじをつかって、ぶんをつくりましょう

れい：「きのう わたしは、がっこうで アサガオを うえました。」

○きょう、たのしかったことや うれしかったことを、にっきにかきましょう

4 どくしょ

○がっこうや としょかんで ほんをかりて、よみましょう。

○えほんや ものがたりのほんなど、いろいろなしゅるいの ほんをよみましょう。

5 けいさん

○10までのかずを かくれんしゅうを しましょう。

○あわせて 10になるかずを かきましょう。

れい： (2と8、4と6)

○たしざんや ひきざんの けいさんを しましょう。

6 そのた

○いえにある もんだいしゅうや ドリルを してもよいです。

○このてびきに のっていない がくしゅうも、じぶんで すずんで かんがえましょう。

すすんで取り組み、やりとげる2年生^{ねんせい}

じしゅがくしゅうで できること

1 おんどく^{おんどく}（こえをだしてよみましょう）

○いま、べんきょうしているところを何回読むかきめて、^{なんかいよ}声をだして読みましょう。

（気持ちをこめて、点と丸に気をつけて読む）

○できるだけ家の人にきいてもらいましょう。

○読んだら、音読カードに読んだしるしを書きましょう。

2 かん字のれんしゅう^{かんじ}

○ならったかん字を、書きじゅんに気をつけてノートに書きましょう。

○ならったかん字をつかったことばや文を書きましょう。

3 にっき^{にっき}・さくぶん^{さくぶん} 日記・作文

○ならったかん字をつかって、みじかい文を作りましょう。

○思ったことや気づいたことを入れて、あそんだことや楽しかったことを書きましょう。

○「^{つか}」を使って、友だちや家の人とのかいわ文（^{はな}話したこと）を入れた文章を書きましょう。

4 どくしょ^{どくしょ} 読書

○学校やとしょかんで本をかりて、読みましょう。

○ものがたりやいろいろなしゅるいの本を読みましょう。

5 けいさん^{けいさん} 計算

○たし算やひき算のひっ算のれんしゅうをしましょう。

○九九のあんしょうができるようにれんしゅうしましょう。

○算数のもんだいを作ってみましょう。

（たし算、ひき算、かけ算になるもんだいを作りましょう）

○百ます計算れんしゅうをしましょう。

そのだ^{そのだ}

○家にあるもんだいしゅうやドリルをしてもよいです。

○この手びきにのっていない学しゅうも、じぶんですすんでかんがえましょう。

いろいろな経験をし、興味や考えをもつ3年生

自分で考え、判断し、
理解する力の基礎を身につける4年生

自主学習で できること

1 音読 (声を出して読みましょう)

- 今、勉強しているところを何回読むか決めて、声を出して読みましょう。
(気持ちをこめて、聞いている人に分かりやすいように)
- できるだけ家の人に聞いてもらいましょう。
- 読んだら、音読カードに読んだしるしを書きましょう。
- まだ、学習していないところを読んでもいいです。

2 漢字の練習・意味調べ

- 今までに勉強した漢字や習った漢字を、ノートに練習しましょう。
- 漢字ドリルの手本を見ながら「とめ」「はね」「はらい」に注意して、練習しましょう。
- 漢字を使った「じゅく語」や「短文」を書きましょう。
- 例：「旅」という字なら「旅行」のようなじゅく語で、
「駅」という字なら「平野駅で電車にのる。」というような短文で書く。
- 「広い」←→「せまい」など反対の意味の言葉を調べて書きましょう。
- 「いとへん」の漢字など、同じ仲間の漢字をノートに書きましょう。
- 国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べ、ノートに意味を書きましょう。
- 四字熟語やことわざを調べ、ノートに意味を書きましょう。
- ローマ字をノートに書きましょう。

3 日記・作文

- その日の出来事や、最近の出来事について書きましょう。
- 題名をつけて、考えたこと調べたことなどを書きましょう。

4 読書

- 学校や図書館で本を借りて、読みましょう。
- いろいろな種類の本を読みましょう。

5 視写

○教科書の文や詩、お話をノートに書き写しましょう。

○好きな言葉や文を、ノートに書き写しましょう。

<算数>

1 教科書やドリルの問題

○ノートを見直して、その日に勉強したところの問題を家でも練習しましょう。

○問題をといたら丸つけをしましょう。

○教科書やドリルの問題をくり返しましょう。まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」「どこをまちがえたのか」を考えて、まちがえなくなるまでやり直しましょう。

2 プリントやテストの問題

○今までに勉強したプリントやテストの問題を、もう一度といてみましょう。

○まちがえた問題は、何度もくり返し復習しましょう。

<社会・理科>

1 教科書を読む

○その日に、勉強したところや、次に勉強するところを読みましょう。

2 勉強に関係のあるところや「おもしろそうだな」と思ったことを図鑑や事典、

インターネットなどで調べましょう。

※インターネットを使う場合は、家の人と一緒に調べましょう。

○ノートに書いたり、○○新聞にまとめたりする。

その他

○家にある問題集やドリルをしてもよいです。

○この手引きにのっていない学習も、自分ですすんで考えましょう。

しこうりよく はんだんりよく りかいりよく かい か ねんせい
思考力、判断力、理解力が開花する5年生

しょうらい もくてき ゆめ
将来の目的や夢をもち、
ちゅうがくせい じゅんび ねんせい
中学生になる準備をする6年生

じしゅがくしゅう 自主学習で できること

1 おんどく 音読 (声をだして読みましよう)

- 今、勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声をだして読みましよう。
(気持ちをこめて、聞いている人に分かりやすいように)
- できるだけ家の人に聞いてもらいましよう。
- 読んだら、音読カードに読んだしるしをかきましよう。
- まだ、学習していないところを読んでみましよう。

2 かんじ れんしゅう い み し ら 漢字の練習・意味調べ

- 今までに勉強した漢字や習った漢字を、ノートに練習しましよう。
- 漢字ドリルの手本を見ながら「とめ」「はね」「はらい」に注意して、練習しましよう。
- 漢字を使った「じゅく語」や「短文」をかきましよう。
- 例：「旅」という字なら「旅行」のようなじゅく語で、「駅」という字なら「平野駅で電車で帰る。」というような短文で書く。
- 「広い」←→「せまい」など反対の意味の言葉を調べてかきましよう。
- 「いとへん」の漢字など、同じ仲間の漢字をノートにかきましよう。
- 国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べましよう。
- 調べたらノートに意味を書いておきましよう。

3 にっき さくぶん 日記・作文

- 意味調べをした熟語を使って短文を作る。
- 心に残った出来事に題名をつけて、習った漢字をたくさん使ってかきましよう。
- ニュースや新聞記事の中から自分でテーマを決め、意見文を書いてみましよう。
(気になった新聞記事などは切り抜いて持っておく)

4 どくしょ 読書

- いろいろな種類の本を読みましよう。

5 視写

○教科書の文や詩、お話などをノートに書き写しましょう。

○文をかたまりごとにみて、ノートに書き写しましょう。

(慣れてきたら、一回で見るかたまりを長くしていきましょう。書き写すのが早くなります。)

<算数>

1 授業で勉強した内容 (復習)

○その日に勉強したところの問題を、家でも練習しましょう。

○教科書やドリルの問題をくり返しましょう。問題をといたら丸つけをしましょう。

○まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」を考えて、まちがえなくなるまでやり直しましょう。

2 プリントやテストの問題

○今までに勉強したプリントやテストの問題を、もう一度といてみましょう。

○まちがえた問題は、何度もくり返し復習しましょう。

<社会・理科>

1 授業で勉強した内容 (復習)

○大事なところに線を引きながら、教科書や資料集をもう一度読んでみましょう。

○大事な語句を中心に教科書の内容をまとめてみましょう。

○その日に、勉強したところや、今度勉強するところを読みましょう。

2 教科書の少し先の内容 (予習)

○声を出して教科書を読みましょう。

○分からないことや興味のあることを図鑑や辞典、インターネットなどで調べましょう。

※インターネットを使う場合は、家の人と一緒に調べましょう。

その他

○家にある問題集やドリルをしてもよいです。

○この手引きにのっていない学習も、自分ですすんで考えましょう。